

9. 社会との連携

① 教員の学外活動の状況

鈴木 宏志	日本寄生虫学会評議員 日本熱帯医学会評議員 日本実験動物学会評議員 日本繁殖生物学会評議員 日本卵子学会胚培養子認定委員 日本卵子学会常任理事
五十嵐 郁男	OIE リファレンスラボラトリー専門家 日本寄生虫学会理事 日本獣医寄生虫学会理事・副理事長 日本熱帯医学会理事 日独原虫病協会理事長 日本獣医学会評議員 Veterinary Parasitology 編集委員 Parasitology Research 編集委員 PLOS ONE Academic Editor 第 53 回日本熱帯学会大会会長(平成 24 年 9 月) 長崎大学熱帯医学研究所熱帯医学研究拠点 運営委員会委員長
玄 学南	日本寄生虫学会評議員 日本獣医寄生虫学会評議員 日独原虫病協会評議員
河津 信一郎	日本寄生虫学会評議員 日本寄生虫学会学術委員会委員 日本熱帯医学会評議員 日本獣医寄生虫学会理事 日独原虫病協会評議員

横山 直明	日本獣医学会評議員 日本寄生虫学会評議員 日本獣医寄生虫学会評議員 日本獣医寄生虫学会誌編集委員
井上 昇	OIE リファレンスラボラトリー専門家 日本獣医学会評議員 日本寄生虫学会評議員 日本獣医寄生虫学会評議員 日本獣医寄生虫学会誌編集委員 日独原虫病協会評議員
五十嵐 慎	日本獣医寄生虫学会評議員 日本寄生虫学会評議員 日本獣医学会評議員 日独原虫病協会事務局
西川 義文	日本寄生虫学会評議員 日本獣医学会評議員 日本獣医寄生虫学会評議員 (分子寄生虫学ワークショップ世話人) The Open Parasitology Journal 編集委員 ISRN Veterinary Science 編集委員
加藤 健太郎	日本獣医寄生虫学会渉外・広報委員 東京大学大学院農学生命科学研究科農学共同研究員
白藤 梨可	日本獣医寄生虫学会庶務委員 日本ダニ学会文献目録委員

② 特許出願・取得

<登録>

特許第 5023331 号 盲導犬に適した犬を選別する方法 鈴木宏志、植田佳子

特許第 5023327 号 盲導犬に適した犬を選別する方法 鈴木宏志、植田佳子

特許第 5721186 号 腔腸動物由来抗原虫化合物 井上 昇、河津信一郎、中尾洋一、後藤康之

Cao S, Xuan X, Igarashi I. Development of serological diagnostic methods against Babesia canis canis infection. EU Patent 12154831.7-1223, 2012.

vaccine preparation for neospora caninum infection

PCT/JP2009/004525 西川義文、横山直明、小島直也

<公開>

マラリアの治療方法、マラリア原虫の殺虫方法、及びその利用

国際公開番号：2012/057294 A1 御子柴克彦、榎本匡宏、河津信一郎

<出願>

ネオスポラ原虫感染症に対するワクチン製剤

PCT/JP2009/004525 西川義文、横山直明、小島直也

トキソプラズマ感染症に対するワクチン製剤

特願 2012-186205 西川義文、黒田泰弘、小島直也

マラリア原虫感染症に対するワクチン製剤

特願 2013-087431 西川義文、黒田泰弘、小島直也

腔腸動物由来抗原虫化合物

中国出願 ZL 2011 8 0013384.5 井上 昇、河津信一郎、中尾洋一、後藤康之

③ シンポジウム・ワークショップおよび市民公開講座等の主催

開催期間	区分	対象	名称	概要	参加人数(人)
4月9日	発表会	国際	H26「原虫病および食品媒介感染症対策上級専門家育成」コース 中間発表会	Le Ha Tam Duong ユン	20
5月15日	講習会	一般	一般救急講習	帯広市消防署が実施するAEDを用いた心肺蘇生法の講義と実技指導。	10
6月12日	講演会	国際	原虫病研究センター特別講義(畜産衛生学) 日本の食品安全行政(Activities of Food Safety Commission of Japan) 見上彪(元食品安全委員会委員長)	招聘講師による学部生、大学院、若手研究者を対象とした講演会。	21
6月19日	セミナー	国際	演題: Phagocytic mechanisms of Brucella into host cells and application of high immunogenic Brucella recombinant proteins as preventive tools Dr. KIM Suk(韓国慶尚大学准教授)	ブルセラ菌の細胞侵入のメカニズム解析とワクチン開発に関するセミナー	18
6月26日	セミナー	国際	原虫病研究センターJICAセミナー Ticks are gorging and fasting organisms 藤崎 幸蔵先生(原虫病研究センター客員教授)	招聘講師による JICA 研修生、学部生、大学院、若手研究者を対象としたセミナー。	14
7月13日	講演会	国際	原虫病研究センター特別講義(畜産衛生学) 演題: 真核生物ゲノム、レトロトランスポゾン、RNA ウイルスの共進化 堀江 真行 博士 (鹿児島大学共同獣医学部附属越境性動物疾病制御研究センター 特任助教)	招聘講師による学部生、大学院、若手研究者を対象とした講演会。	30

シンポジウム・ワークショップおよび市民公開講座等の主催・続き

開催期間	区分	対象	名称	概要	参加人数(人)
7月14日	セミナー	国際	OIE/FAO/USDA 共催による ワークショップ OIE に関する特別セミナー 講師：釘田博文(OIE アジア太平洋地域代表) オ ユンイ((OIE アジア太平洋地域事業調整官) Dr. Yoon I Oh	テーマ：国際獣疫事務局 (OIE)とはどんなところ？(日本語) What's OIE? (Japanese) ワンヘルス(One Health)に関する OIE の取組について(英語) OIE's Activities under One Health Concept(English)	21
7月15日～ 7月16日	ワークショップ	国際	FAO-APHCA/OIE Regional Workshop on Prevention and Control of Neglected Zoonoses in Asia 講師：釘田博文(OIE アジア太平洋地域代表) オ ユンイ((OIE アジア太平洋地域事業調整官) Dr. Yoon I Oh	FAO- APHCA(国際連合食糧農業機関 アジア太平洋地域家畜生産・衛生委員会)、OIE(国際獣疫事務局)、USDA(米国農務省)が共催する「アジアで流行する顧みられない人獣共通感染症の予防と制御に関するワークショップ」。西川義文准教授が、トキソプラズマに関する講義を行った。	31
8月1日	公開講座	一般	平成 27年度大学説明会 教授 井上 昇 准教授 西川義文 助教 白藤梨可	原虫病研究センターの活動紹介 研究室見学ツアー 顕微鏡を用いた標本観察 研究内容のポスター展示	114
8月7日	セミナー	国内	原虫病研究センターJICA セミナー 国際保健医療:メコンデルタでの感染症の現状 国立研究開発法人 国立国際医療研究センター 研究所 熱帯医学・マラリア研究部 狩野繁之部長	招聘講師による JICA 研修生、学部生、大学院、若手研究者を対象としたセミナー。	12

シンポジウム・ワークショップおよび市民公開講座等の主催・続き

開催期間	区分	対象	名称	概要	参加人数(人)
8月22日	セミナー	一般	「グローバルギャップの概要と日本における取り組み事例について」 植原千之(イオントップバリュ株式会社 食品 H&BC 商品本部ヘルス&ウェルネス推進兼 地域開発推進担当) 「イオンアグリ創造の取組」 福永庸明(イオンアグリ創造株式会社代表取締役社長) 「十勝小豆農家のグローバルギャップの認証取得について」 森田哲也(株式会社 A-Net ファーム十勝代表取締役)	帯広市と大学で実施している、「フードバレーとかち人材育成事業」のセミナー 「フードチェーンにおけるグローバルギャップの位置づけ」	46
8月30日～ 9月2日	研究会	国内 国際	第23回分子寄生虫学ワークショップ/ 第13回分子寄生虫・マラリア研究フォーラム合同大会	分子を合言葉にした寄生虫研究の横断的研究集会で、寄生虫、節足動物、寄生虫症・マラリアの基礎研究に関係する46名の研究者・学生が参加しました。“Scienceの場では皆が平等である”というスタンスのもと、活発な議論が繰り返される内容の濃い研究集会となりました。 (本学世話人:西川義文、河津信一郎)	46
9月16日～ 9月18日	セミナー	国際	SATREPS セミナー SATREPS 学術会議 イムノクロマト装置説明会及びデモ SATREPS 研究打合せ	SATREPS プロジェクトのカウンターパート機関であるモンゴル国立獣医学研究所から研究者等13名の他、モンゴル教育科学省のNasanbayar局長を招聘し、各自が行っている研究・調査の進捗状況や課題を発表し、日本側の研究参加者と今後の研究の進め方等について意見交換が行われた。	23

シンポジウム・ワークショップおよび市民公開講座等の主催・続き

開催期間	区分	対象	名称	概要	参加人数(人)
10月7日	講演会	国際	原虫病研究センター特別講義 (畜産衛生学) マラリア対策を目指す世界の動き(Current global malaria control strategy) 狩野繁之(国立国際医療研究センター研究所・熱帯医学マラリア研究長)	招聘講師による学部生、大学院、若手研究者を対象とした講演会。	23
10月10日	研究会	国内 国際	第61回 日本寄生虫学会・ 日本衛生動物学会 北日本支部合同大会	公開講演会:「SFTSが北日本で発生する可能性は?-最新の知見から-」 前田 健 先生(山口大学共同獣医学部教授(獣医微生物学)) (本学世話人:猪熊 壽、河津信一郎)	30
10月26日	研究会	国内	生命平衡科学講座(白寿)業績報告会	予防医学と健康寿命を考える 成果報告の部 「電界ストレス軽減様作用とその用量依存症の発見」 原川信二客員准教授 「創傷(褥瘡)モデルの作成の試み」 堀卓也研究員 「電気を目で見る技術」 土屋昌弘(情報通信研究機構 上席研究員)	40
10月26日	セミナー	一般	生命平衡科学講座(白寿)業績報告会 市民教育セミナー	「一人一人に思いを寄せる」 ～スポーツ界の今～ 山本 浩(法政大学スポーツ健康学部教授/元 NHK アナウンサー・解説委員)	30

シンポジウム・ワークショップおよび市民公開講座等の主催・続き

開催期間	区分	対象	名称	概要	参加人数(人)
11月2日	講演会	一般	テッラ・マードレ・ジャパン in 北海道 2015 「食と大地の文化祭」	講演&トークセッション 「食の未来・大地の未来」 ～次世代に残したいもの～ 出演:菅原昭彦(気仙沼市・男 山本店) ERI(熊本県南阿蘇村・田舎 のヒロインズ) 尾藤光一(芽室町・畑作農家)	100
12月4日	講演会	国際	原虫病研究センター特別講義 (畜産衛生学) 演題: Status of Common Small Animal and Livestock Tick-borne Diseases in the Philippines 講師: Dr. Adrian P. Ybanez (Senior Lecturer, Faculty of Veterinary Medicine, University of the Philippines Cebu)	招聘講師による学部生、大学 院、若手研究者を対象とした 講演会。	25
1月14日	セミナー	国際	第4回 GAMRC 獣医学研究 部門 特別セミナー 演題: Emerging Fish Diseases in the US (米国で 発生している魚病疾病につい て) 講師: Dr. Rodman Getchell Aquatic Animal Health Program, Cornell University College of Veterinary Medicine	招聘講師による学部生、大学 院、若手研究者を対象とした 特別セミナー。	35

シンポジウム・ワークショップおよび市民公開講座等の主催・続き

開催期間	区分	対象	名称	概要	参加人数(人)
1月28日	報告会	国内	帯広畜産大学原虫病研究センター共同研究成果報告会 H26年度、本研究センターと他大学の先生方とで実施した共同研究成果の報告会	「マラリア原虫感染症に対する血中ビタミン E 濃度に影響する薬物の効果に関する研究」 国立研究開発法人産業技術総合研究所主任研究員 七里 元督 氏 「トキソプラズマ原虫の宿主細胞侵入機構の構造生物学的解析」 東京大学大学院農学生命科学研究科助教 宮川 拓也 氏	18

④ その他(新聞・テレビなど)

井上 昇

- ・北海道新聞「伝えたい:感染症を防げ」(平成 27 年 6 月 24 日)
- ・読売新聞電子版「知の拠点セミナー:人類は原虫病を克服できるか?したたかな単細胞との戦い」(平成 27 年 6 月 25 日)
- ・日本経済新聞「知の明日を築く:感染症治療、世界へ成果」(平成 27 年 7 月 29 日)
- ・十勝毎日新聞「今なぜモンゴル上(モンゴル人側から見たプロジェクト)人の往来」(平成 27 年 10 月 14 日)
- ・十勝毎日新聞「今なぜモンゴル中(モンゴル人側から見たプロジェクト)恩恵」(平成 27 年 10 月 15 日)
- ・十勝毎日新聞「今なぜモンゴル下(モンゴル人側から見たプロジェクト)活躍する女性たち」(平成 27 年 10 月 16 日)

河津 信一郎

- ・十勝毎日新聞「感染症の国際対策参画:帯畜大「住血吸虫症」診断で」(平成 27 年 6 月 6 日)

西川 義文

- ・日本経済新聞「知の明日を築く:感染症治療、世界へ成果」(平成 27 年 7 月 29 日)

加藤 健太郎

- ・十勝毎日新聞「ヘパリンに下痢感染抑制:抗血液凝固薬 新薬開発に期待」(平成 27 年 7 月 2 日)
- ・北海道新聞「血液抗凝固剤「ヘパリン」:下痢防ぐ効果期待」(平成 27 年 7 月 2 日)
- ・日本経済新聞「知の明日を築く:感染症治療、世界へ成果」(平成 27 年 7 月 29 日)
- ・日経産業新聞「寄生虫「トキソプラズマ」:「免疫逃れ」防止へ道」(平成 27 年 8 月 5 日)